

神戸市会議員

市政報告

岡田 ゆうじ



神戸市会予算特別委員会

発行：新しい自民党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町 6-5-1 TEL090-9259-1555

2025. 8

No.67

難病患者の支援

難病とは、**原因や治療法が十分に解明されておらず、長期にわたる治療が必要で、**患者に大きな身体的・経済的負担を強いる疾患の総称です。日本では法律により特定の疾患（全部で348疾患）が指定難病として定められ、医療費助成の対象となっています。これらの疾患は、慢性的で進行性の場合が多く、日常生活や社会参加に大きな影響を及ぼします。

難病患者は慢性的かつ長期的な治療を必要とし、医療費が高額になる傾向がありますが、特に昨今の物価高騰の影響で、所得が低い状態にある患者は、経済的苦境にも立たされています。また、国の難病支援制度にも課題もあり、例えばALS（筋萎縮性側索硬化症）患者の場合、リハビリや車椅子の購入などは「更生医療」として**1割負担**で済みますが、投与される薬剤などには**2割負担**が課されます。**同じ疾患への対策にもかかわらず負担割合が異なるこの制度の不均衡**は、患者の不公平感の増大につながり、治療の継続をも困難にしています。

岡田ゆうじ議員からも、難病は治療法が確立されておらず長期治療が必要なため、**現行の一部2割負担を、全て更生医療の1割負担に統一するよう、幾度となく要望**を続けていますが、未だ実現には至っていません。



私達もいつ何時患者になるか分かりません
常に支え合いの市政であるよう努めます

確かに予算等の状況から、神戸市単独の対応には限界があります。しかし神戸市がこの分野で積極的な姿勢を示すことは、**認知症対策と並び、市民の健康と福祉を守る先進都市としての評価を高める**ことにもつながります。

引き続き、難病患者の皆様が「何とか乗り越えられる」と感じられるように、神戸市が率先して支援を拡充していくことを求め続けて参ります。皆様の声をお寄せ下さい。

難病患者の医療費を全て 1 割負担へ統一して欲しい

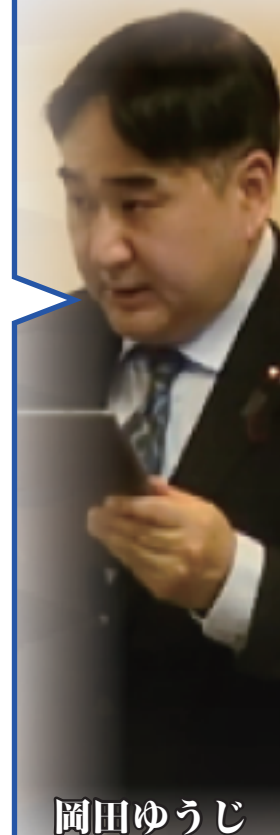
○委員（岡田ゆうじ） 難病患者が直面する経済負担っていうのは、もともと大変なんですけど今、物価高騰で、所得の平均値はどうしても、彼ら苦境の中で低い状態にありますから、大変苦しんでいるわけです。

例えばALSの人なんかがですね、進行を遅らせるリルゾールなんかを処方されますよね。そうすると2割負担です。これは医療行為なので。だけど、片やりハビリを受けるとか、車椅子を購入せざるを得ないとかなったら、それは更生医療だから1割なんです。

同じALSの患者で、同じ人で同じ症状なのに、ある分野は2割負担だけど、あるものは1割負担なんです。特にそのリルゾールであるとか、医薬品のほうがやっぱり高いので、2割負担だと100万円だったら20万ですよ。だけど車椅子のレンタルとか理学療法治療だったら10万円だったら1割負担で済むから1万円ですよ。

むしろこの薬物療法であるとかそうしたものの負担の方が大きいため、こちらを下げしてほしいなと。そうすれば大分生活も楽になるし、ずっと付き合っていかなくちゃいけない難病であるけれども、何とか乗り越えられそうだとわかるわけですね。

いま一度、この**制度の不均衡**を認識していただいて、神戸市は認知症だけじゃなくて、難病とかこういう分野についても、やっぱり明るい、非常に熱心だという印象を与えるということは非常に大事なことだと思いますので、ぜひ改めて力を入れてもらいたいし、できれば、**神戸市独自で支援をしていただきたい**と思うわけでありましたが、見解を伺います。



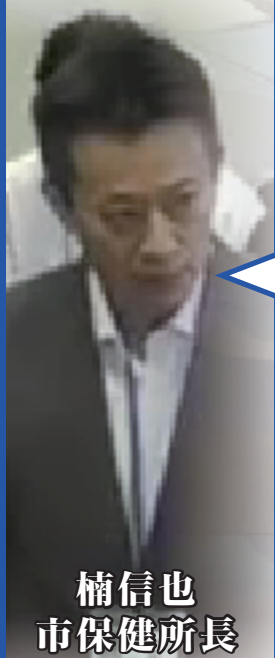
岡田ゆうじ

○楠健康局保健所長 難病患者に対する医療費助成に関しましては、将来にわたって持続可能で公平かつ安定的な社会保障給付の制度として、平成27年1月に治療研究の推進や患者の経済的負担の軽減を目的とし、難病の患者に対する医療費等に関する法律が施行されたところであります。

法施行により、対象疾患が法施行前の56疾患から348疾患、平成7年4月1日時点ですけれども、大幅に拡大し、自己負担割合につきましては、特定疾患治療研究事業の3割から2割に引き下げられたところであります。

神戸市の難病団体連絡協議会——難病連ですけれども、こちらの団体からも難病対策懇話会において毎年意見交換会を行い、本市に対して要望をいただいている状態であります。**難病は治療法が確立しておらず、長期にわたって治療が必要となることから、さらなる患者負担の軽減を図る必要があり**、現行の2割負担から、更生医療と同等の1割負担に引き下げること、要望しているところであります。

難病医療の自己負担につきましては、全ての都道府県及び政令市において独自の軽減は行っていないことから、**全国一律での対応が必要と考えており、引き続き国に強く要望を行ってまいりたいと考えております。**



楠 信也
市保健所長



あらゆる人が暮らしやすい神戸のまちづくりを！

神戸市会議員 垂水区 岡田ゆうじ

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-18-20
TEL : 090-9259-1555 / FAX : 078-330-2335

岡田ゆうじ
ホームページ
mail@okadayu.ji.net
www.okadayu.ji.net

